

地域密着型ビジネス創出助成事業の採択決定について

平成 26 年度第 1 回募集分

えひめ産業振興財団では、県内で培われた製造技術や豊富な農林水産物といった地域資源等を活かした“地域密着型ビジネス”を新たに開始しようとする方に、初期的経費を助成する「地域密着型ビジネス創出助成事業（一般枠）」及び新製品・新サービスによる新規ビジネスの展開に係る必要経費を助成することで、県内産業の牽引役となる成長企業を創出することを目的とした「地域密着型ビジネス創出助成事業（新規ビジネス展開枠）」を実施しております。

4月11日～5月9日に行った一般枠及び新規ビジネス展開枠に係る今年度第1回目の募集に対し、5件の応募があり、審査会を経て下記のとおり4件への助成を決定いたしました。

記

【一般枠】

申請者	事業テーマ	事業概要
栗林 泰彦	えひめの IT 農業経営収益モデルを目指すカラートマトの加工・販売事業	東温市で自家栽培した、4種のカラーミニトマトの規格外品をパスタソースやトマトピクルスに加工し、地元スーパー等で販売する他、栽培施設の自動化にも取り組むことで、より収益性の高い生産体制を構築していく。
佐伯 浩一	伊予南高を使った地産地消型梅加工製造販売	西条市小松町で自家栽培された良質な南高梅を梅干しに加工して、地元の産直市等で販売するとともに、地元での「梅まつり」等のイベント開催を通じて、地域の活性化に取り組んでいく。
橋本 そよみ	宇和海ぶりのアンテナ店開設による加工・販売事業	松山市で宇和海産養殖ぶり専門の料理店を開設して、旬の冬場に水揚げされ、長期冷凍保存したぶりを、ぶり丼や炙り寿司等に加工、販売し、主に女性を対象に養殖魚をアピールしていく。

【新規ビジネス展開枠】

申請者	事業テーマ	事業概要
(株)あいさと 代表取締役 山下 大介	県産真鯛のアラを有効活用した「おどり鯛シリーズ商品」の加工・販売	同社では未利用であった県産真鯛のアラを有効活用して、ふりかけ等に加工し、観光土産品としてシリーズ化して空港等で販売していくことで、全国に県魚である真鯛をアピールしていく。

[過去の採択事業はこちら](#)